

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立若宮小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 792 - 0003

愛媛県 新居浜市 新田町 1丁目8-56

E-mail wkme-ad@esnet.ed.jp

Website wakamiya-e.esnet.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 22 名 女子 15 名 合計 37 名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

1 テーマ (主題)

自己を拓き 広げよう とともに生きる力

目 的

- 本校の教育の目標「自己を拓き、ともに生きる児童の育成」の具現化を図るため、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 地域のものや人材を生かした福祉教育・防災教育・環境教育などの教育活動を基盤として、自己の可能性に挑戦し、地域を愛する心を育む。
- 地域を超えて年齢や個性の異なる人や環境と豊かに関わる体験の場を充実し、共感する心や未来を見通し、ともによりよく生きる力を育てる。

2 主な活動について

① 地域と関わる活動「若宮ふれあい運動会」

(ねらい)

- ・ 地域のお年寄りの方や青年団などの若い方、そして保護者や未就学児まで、三世代にわたって地域の方々と運動会を通して共に楽しい時間を過ごすことにより、地域の人たちとの交流を深める。

(活動の実際)

- ・ 5月28日に、児童は地域や保護者の方々と様々な種目に一緒に参加し、楽しんだり一緒に競技したりしながら触れ合い、地域の方々に支えられていることを実感し、地域の方々と交流を深めることができた。今年度は、若宮小学校の最後の運動会ということもあり、いつもより多くの地域の方や卒業生、またその家族の方までが集まり、運動会の種目や記念写真、グランドフィナーレに参加し、手紙を付けた風船を飛ばしながら、最後の運動会の別れを惜しんだ。

② 環境学習及び地域と関わる活動「わかっ子クリーン大作戦」

(ねらい)

- ・ 校区をきれいにするために活動している地域の方と一っしょに清掃活動をすることによって、地域のために役立とうとする気持ちを高め、地域を大切にしている心情を育てる。
- ・ 縦割り班で清掃活動をするを通して、協力し助け合おうとする態度を育てる。

(活動の実際)

- ・ 7月6日に、全校児童が4つの縦割り班に分かれて、地域、保護者の方とともに、地下道や学校周辺の清掃活動を行った。学年ごとに仕事を分担し、通学路のごみ拾いや草ぬき、地下道の壁拭きや掃き掃除をした。知らないところで多くの地域の方々に手助けされていることを知り、感謝の思いを持つとともに、自分たちの住む町を自分たちの手で美しく住みやすくしていこうという態度を育てることができた。

③ ユネスコスクールとの交流活動「高知県四万十町立七里小学校との交流」

(ねらい)

- ・ お互いの学校のESD活動を紹介し合うことによって、ESD活動に関する理解と関心を深め、ESDを推進していこうとする実践的態度を養う。
- ・ 他県の学校の児童とESDを通してつながり、友情を深める。

(活動の実際)

- ・ 11月28日に高知県四万十町立七里小学校に若宮小学校全校児童で訪問し、ESD活動の発表や歌、演奏や給食を通しての交流を行った。短い時間であったが、お互いの学校の特色や活動について知り、交流を図り、つながれたことが心の財産となっている。



(若宮ふれあい運動会の様子)



(わかっ子クリーン大作戦の様子)



(七里小学校での交流の様子)

(2) 活動の詳細

①活動内容

- 学年園、学校農園等での野菜やバケツ稲等の栽培活動（各学年、ボランティア講師）
 - 竹とんぼづくり教室（3・4年、ボランティア講師）
 - 紙飛行機づくり教室（1・2年、ボランティア講師）
 - ふれあい給食（地域のお世話になっている方々を各クラスにご招待）
 - わかっ子集会（お年寄り・ボランティア講師をご招待「案内状」（縦割り班で作成）を送付）
 - 若宮ふれあい大運動会（学校、PTA、地域、公民館合同開催）
 - わかっ子クリーン大作戦（縦割り班、公民館、地域合同で校区の清掃活動）
 - 独居高齢者宅訪問（文化祭時、お赤飯と手紙をもって4・5・6年生が訪問）
 - 地域のお年寄りへの「暑中見舞い」「年賀状」送付（4・5・6年生）
 - 若宮保育園児との交流学習（全）
 - 校区にあるデイケア施設「ひだまりの里」でのお年寄りとの交流（4年）
 - 新居浜総合福祉センターでの学習（4年）
 - 広瀬邸、広瀬歴史記念館、別子銅山記念館など新居浜の歴史的・文化的な施設の見学（4年）
 - 防災まちあるき（3年）、地震・津波が来たら（4年）、合同避難訓練（全）
- ※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

学校独自で作成したものがほとんどである。

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・ 学校経営計画の経営方針の4つの柱の3つ目に「ESD を積極的に推進し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに、開かれた学校づくりに努める」と位置付けている。
- ・ ESD年間指導計画及びESDカレンダーを作成し、指導内容を適切に定めている。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 市教育委員会の指導の下、校務分掌にESD推進主任を置き、組織的なESD活動が推進される体制づくりに努めている。また、縦と横との連携を図るためにESDカレンダーを作成し、PDCAサイクルに基づいて、検証や改善を行っている。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

①教職員、児童、保護者による自己評価 ②学校内外のメンバーで構成された学校評価委員会 において学校評価を行っている。ESDについて、次のような成果と課題が出された。

- ・ 地域の方々の協力により、地域の方々に支えられ守られて、自分たちの生活が成り立っているということを知り、ふるさとを大切に作る心などを育むことができた。
- ・ 地域の方と交流し、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進することができた。
- ・ 地域の温かさの中でつながりを大切にしながら、ともに生きることのすばらしさを実感することができた。
- ・ 今年度で若宮小学校は閉校となり、ESD活動が持続発展できなくなってしまうが、統合後も何らかの形で今の若宮の地域とつながり、地域の方とのつながりを大切にしたい活動ができることを望んでいる。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

- ・ 市教育委員会にESD活動報告を提出し、市内の各校の活動成果が冊子となって各校に配布される。
- ・ HPにESDコーナーを設け、本校のESD活動を広く知ってもらおうと積極的な発信に努めている。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

- ・ 市教育委員会が、鳴門教育大学や愛媛大学と連携している。市教育委員会がイニシアチブをとって、研修を進めてくれているので、学校としてその研修に主体的に参加することによって成果を上げている。

⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項2-4に対応

- ・ 高知県の四万十町立七里小学校とは交流をすることができたが、交流を推進する前に本校の閉校が決定したため、交流を広げることができなかった。

⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

- ・ もともと地域とのつながりの深い学校であったため、活動自体はユネスコスクール認定以前と大きな変化はないが、活動の目的やねらいを明確にすることによって得られる教育効果は大きかったように思う。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本校は、平成29年度3月末で統廃合のため閉校いたします。長い間ありがとうございました。